



2025年3月期 第1四半期決算 プレゼンテーション資料

2024年7月29日

大阪ガス株式会社

証券コード 9532

I. 25.3期第1四半期決算と見通しの概要	- 2	II. 25.3期第1四半期決算の対前年比較	- 8
• 25.3期第1四半期決算のポイント	- 3	• 25.3期第1四半期決算の対前年比較	- 9-13
• 25.3期第1四半期決算の対前年比較(経常利益)	- 4	III. 25.3期見通しの対前年比較	- 14
• 25.3期見通しのポイント	- 5	• 25.3期見通しの対前年比較	- 15-19
• 25.3期見通しの対前年比較(経常利益)	- 6	IV. 補足情報	- 20
• 成長投資の実績と見通し	- 7	• 通期見通しに対する主な収支変動要因	- 21

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています：下記のURLで、決算短信、統合報告書、ファクトブック、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。
<https://www.daigasgroup.com/ir/>

「見通し」に関する注意事項：このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略等が含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

25.3期見通しについては、2024年5月8日公表の自己株式の取得による影響を考慮しています。ただし、「DOE」、「配当性向」、「一株当たり当期純利益」及び「一株当たり純資産」の計算には、自己株式の取得の影響は含んでおりません。

国内ガス販売量に関する注記：全て、基準熱量を45MJ/m³として、表記しています。名張近鉄ガス・新宮ガスは12月決算です。

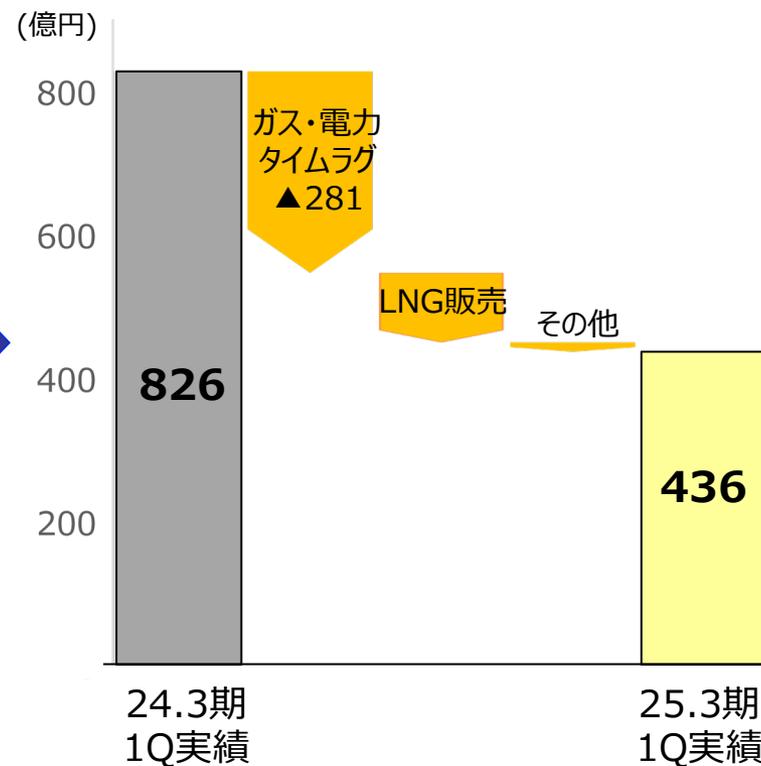
I . 25.3期第1四半期決算と見通しの概要

25.3期第1四半期決算のポイント

- ✓ 売上高は、国内エネルギー事業で前期に比べガス販売単価が低めに推移したことなどにより減収。
- ✓ 経常利益は、国内エネルギー事業でタイムラグ差益が縮小したことやLNG販売量が減少したことなどにより減益。

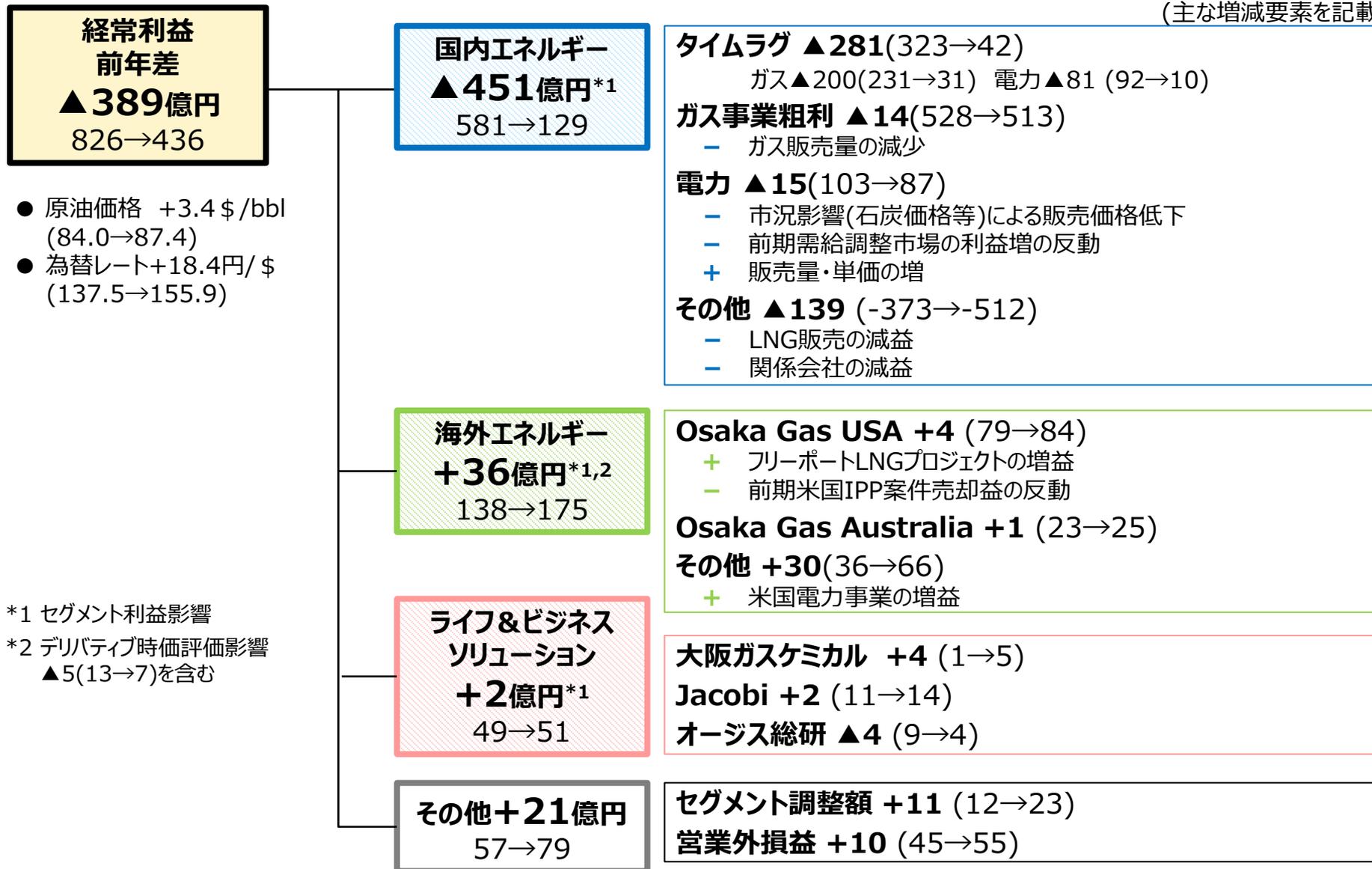
(億円)	25.3期 1Q実績	24.3期 1Q実績	前年差
売上高	4,709	5,126	▲416
経常利益	436	826	▲389
親会社株主に帰属する 当期純利益	307	605	▲297

経常利益 前年差(▲389億円)の概要



25.3期第1四半期決算の対前年比較(経常利益)

(主な増減要素を記載)



- 原油価格 +3.4 \$/bbl (84.0→87.4)
- 為替レート+18.4円/\$ (137.5→155.9)

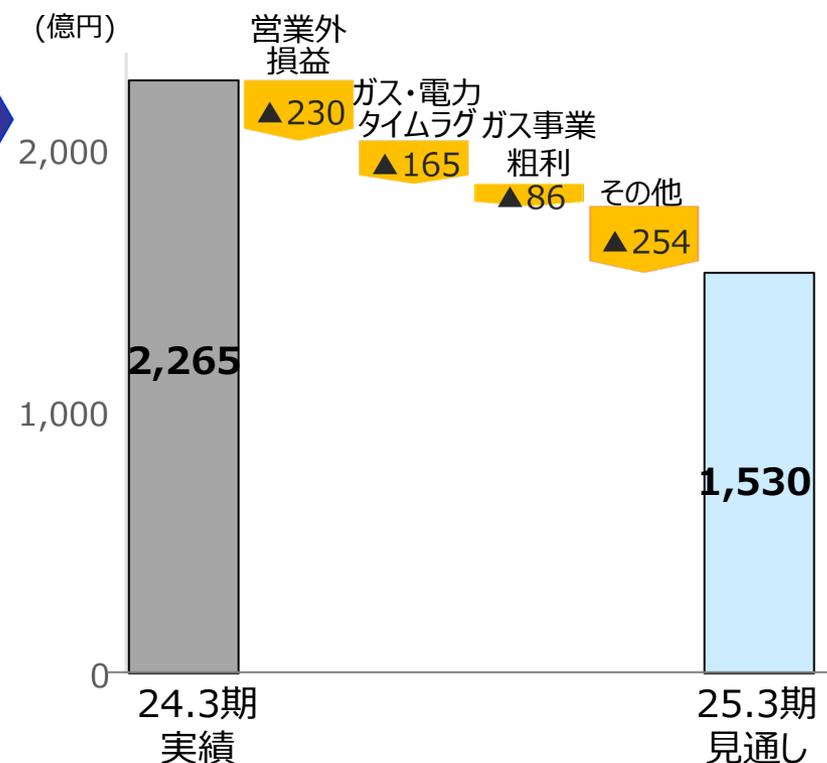
*1 セグメント利益影響
 *2 デリバティブ時価評価影響
 ▲5(13→7)を含む

25.3期見通しのポイント

- ✓ 25.3期見通しは、5月公表の業績予想から変更なし。
- ✓ 売上高は、国内エネルギー事業におけるガス・LNG販売価格の低下等により、24.3期に比べて減収となる見通し。
- ✓ 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、原料調達に伴う為替差益等の前年度の一時的な増益の反動や、タイムラグ差益の縮小等により、24.3期に比べて減益となる見通し。

(億円)	25.3期 見通し	24.3期 実績	前年差
売上高	19,860	20,830	▲970
経常利益	1,530	2,265	▲735
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,120	1,326	▲206
ROIC (%) *1	4.7%	7.0%	▲2.2%
ROE (%)	7.0%	8.9%	▲2.0%
自己資本比率 (%) *2	54.5%	55.9%	▲1.3%
D/E比率(倍) *2	0.58	0.51	+0.07
配当額(円/株)	95.0	82.5	+12.5

経常利益 前年差(▲735億円)の概要



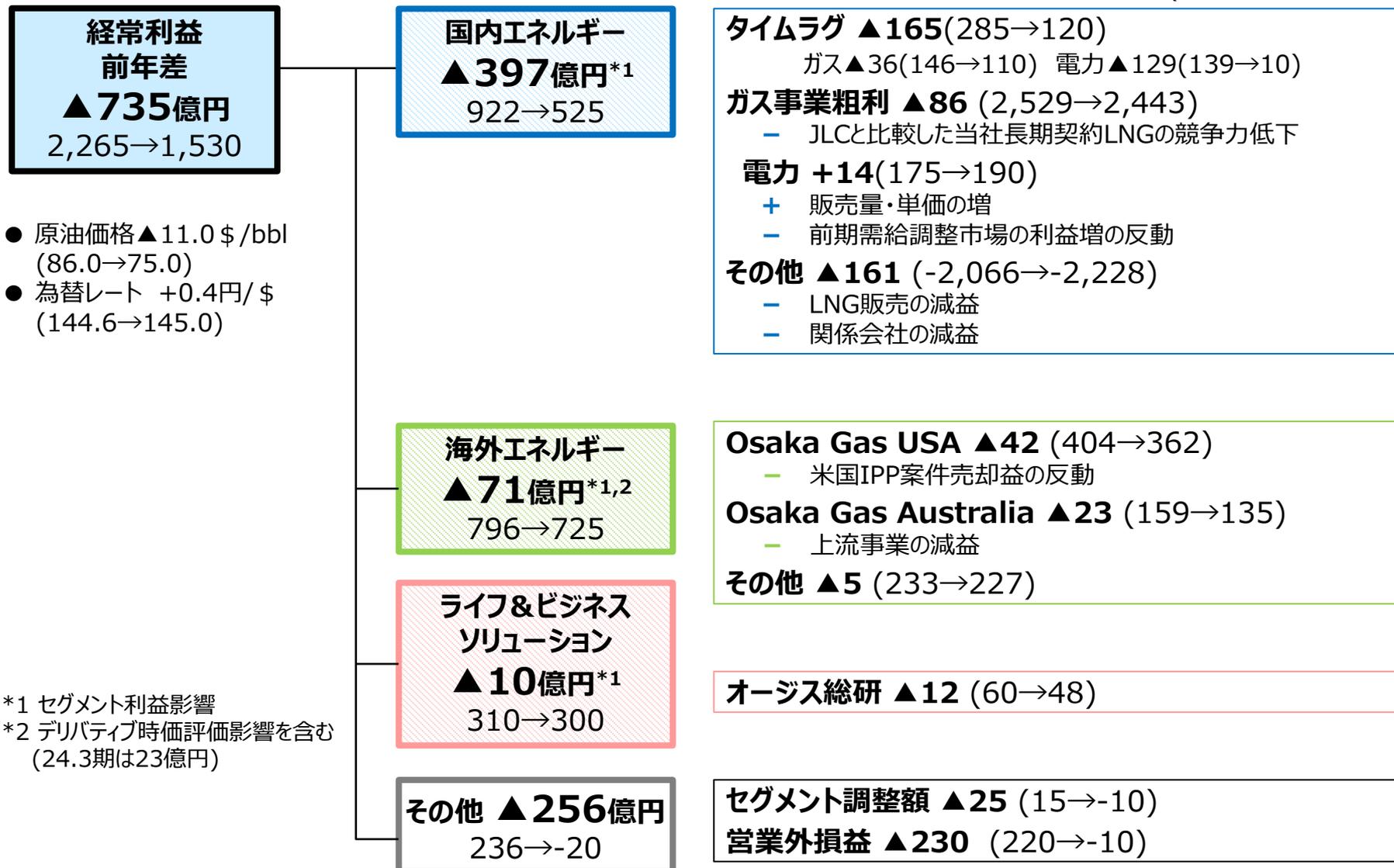
*1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本(期首期末平均)
 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高(当社にリスクのないリース負債除く)

*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

25.3期見通しの対前年比較(経常利益)

※ 25.3期見通しは、5月公表の業績予想から変更なし。

(主な増減要素を記載)



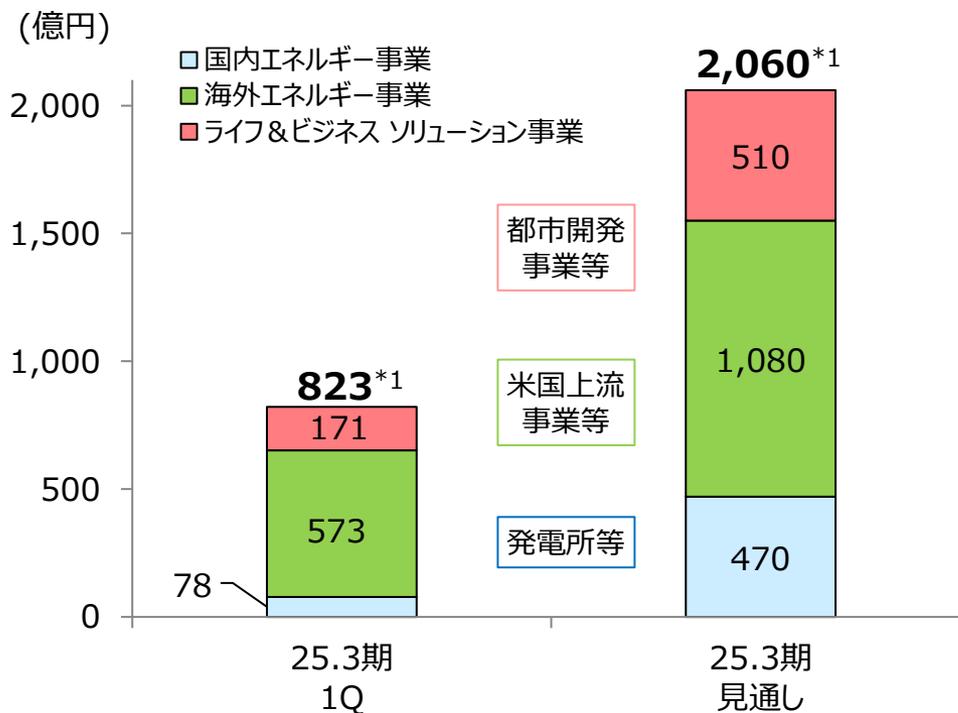
- 原油価格▲11.0\$/bbl (86.0→75.0)
- 為替レート +0.4円/\$ (144.6→145.0)

*1 セグメント利益影響
 *2 デリバティブ時価評価影響を含む
 (24.3期は23億円)

成長投資の実績と見通し

- ✓ 25.3期第1四半期の成長投資額は、823億円。
- ✓ 財務健全性は、中期経営計画で示す「自己資本比率45%以上、D/E比率0.8以下」を確保。

成長投資



*1 成長投資額には設備投資案件以外に出資・融資案件を含むため、設備投資額とは異なる

財務健全性指標

	24.3期 期末実績	25.3期 1Q末実績	25.3期 期末見通し
自己資本 比率^{*2}	55.9% (52.9%)	53.9% (51.2%)	54.5% (51.8%)
D/E比率^{*2}	0.51 (0.59)	0.59 (0.67)	0.58 (0.66)

*2 発行済ハイブリッド社債1,750億円の資本性50%を調整。括弧内の数値は調整前。

Ⅱ. 25.3期第1四半期決算の対前年比較

25.3期第1四半期決算の対前年比較 - ①売上高、利益等

億円	A. 25.3期 1Q実績	B. 24.3期 1Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	4,709	5,126	-416	-8.1%	ガス販売単価低下 等
営業利益	287	736	-449	-61.0%	タイムラグ差損益 等
経常利益	436	826	-389	-47.2%	タイムラグ差損益 等
タイムラグ差損益 ^{*1}	42	323	-281	-87.0%	
(個別)ガス事業	31	231	-200	-86.6%	
(個別)電力事業	10	92	-81	-88.1%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	307	605	-297	-49.2%	タイムラグ差損益 等
一株あたり当期純利益(円)	75.5	145.7	-70.2	-48.2%	
EBITDA ^{*2}	683	1,067	-383	-35.9%	タイムラグ差損益 等
NOPAT ^{*3}	325	626	-301	-48.1%	タイムラグ差損益 等

*1 国内エネルギーの内数

*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) + 持分法投資損益

*3 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 25.3期 1Q実績	B. 24.3期 1Q実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	87.4	84.0	+3.4	25.3期実績は6月速報値までの平均
為替(円/\$)	155.9	137.5	+18.4	

25.3期第1四半期決算の対前年比較 - ②資産等

億円	A. 25.3期 1Q末実績	B. 24.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	32,143	29,801	+2,341	
自己資本	16,451	15,775	+676	
一株当たり純資産(円)	4,053.4	3,857.5	+195.9	
株主資本	12,459	12,463	-4	
有利子負債	11,028	9,382	+1,645	
ハイブリッド社債	1,750	1,750	±0	

	A. 25.3期 1Q実績	B. 24.3期 1Q実績	A-B	備考
ROIC ^{*1}	1.2%	2.6%	-1.4%	タイムラグ差損益 等
ROE	1.9%	4.2%	-2.3%	タイムラグ差損益 等

*1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本 (期首期末平均)

NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

	A. 25.3期 1Q末実績	B. 24.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	51.2%	52.9%	-1.8%	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*2}	53.9%	55.9%	-2.0%	
D/E比率	0.67	0.59	+0.08	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*2}	0.59	0.51	+0.08	

*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

25.3期第1四半期決算の対前年比較 - ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 25.3期 1Q実績	B. 24.3期 1Q実績	A-B	備考
品質向上投資	133	125	+8	
成長投資	823	402	+421	
国内エネルギー	78	75	+2	
海外エネルギー	573	199	+374	
ライフ&ビジネス ソリューション	171	126	+44	
設備投資	535	453	+82	
減価償却費	303	286	+16	

億円	A. 25.3期 1Q実績	B. 24.3期 1Q実績	A-B	備考
フリーキャッシュフロー ^{*1}	-732	577	-1,309	

*1 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

25.3期第1四半期決算の対前年比較 - ④件数、販売量等

	A. 25.3期 1Q末実績	B. 24.3期 1Q末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,426	10,101	+325	+3.2%	
ガス ^{*1}	5,350	5,311	+40	+0.7%	
電力 ^{*2}	2,297	2,096	+201	+9.6%	
その他	2,779	2,694	+85	+3.1%	

*1 ガス供給件数と持分法適用会社の供給件数の合計（ワンタッチ卸先の供給件数を除く）

*2 低圧電気供給件数および持分法適用会社の供給件数などの合計

	A. 25.3期 1Q実績	B. 24.3期 1Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m ³) ^{*3,4}	1,463	1,535	-72	-4.7%	
家庭用	344	376	-32	-8.5%	
業務用等	1,119	1,160	-40	-3.5%	
ガス供給件数(千件)	5,084	5,024	+60	+1.2%	
国内電力販売量(百万kWh) ^{*4}	3,131	2,860	+272	+9.5%	
小売	1,343	1,272	+72	+5.6%	
卸等	1,788	1,588	+200	+12.6%	
低圧電気供給件数(千件)	1,848	1,743	+105	+6.0%	

	A. 25.3期 1Q実績	B. 24.3期 1Q実績	A-B	備考
平均気温(℃)	20.4	19.9	+0.5	

*3 45MJ/m³

*4 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日までに生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

25.3期第1四半期決算の対前年比較 - ⑤セグメント別

億円	A. 25.3期 1Q実績	B. 24.3期 1Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	4,709	5,126	-416	-8.1%	
国内エネルギー	3,957	4,446	-489	-11.0%	ガス販売単価低下 等
海外エネルギー	255	220	+34	+15.8%	
ライフ&ビジネス ソリューション	630	590	+39	+6.7%	
調整	-133	-131	-1	-	

セグメント利益 ^{*1}	380	781	-400	-51.3%	
国内エネルギー	129	581	-451	-77.7%	タイムラグ差損益 等
内、電力	98	195	-96	-49.6%	タイムラグ差損益 等
海外エネルギー	175	138	+36	+26.6%	米国電力事業での増益等
ライフ&ビジネス ソリューション	51	49	+2	+4.9%	
調整	23	12	+11	+93.4%	

タイムラグ差損益 ^{*2}	42	323	-281	-87.0%	
(個別)ガス事業	31	231	-200	-86.6%	
(個別)電力事業	10	92	-81	-88.1%	
ヘッジ会計適用外の デリバティブ時価評価影響 ^{*3}	7	13	-5	-45.6%	

*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

*2 国内エネルギーの内数

*3 海外エネルギーの内数

Ⅲ. 25.3期見通しの対前年比較

※ 25.3期見通しは、2024年5月8日公表時点から変更はありません。

25.3期見通しの対前年比較- ①売上高・利益等

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	19,860	20,830	-970	-4.7%	ガス販売単価低下 等
営業利益	1,235	1,725	-490	-28.4%	タイムラグ差損益 等
経常利益	1,530	2,265	-735	-32.5%	タイムラグ差損益 等
タイムラグ差損益 ^{*1}	120	285	-165	-57.9%	
(個別)ガス事業	110	146	-36	-24.7%	
(個別)電力事業	10	139	-129	-92.8%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,120	1,326	-206	-15.6%	タイムラグ差損益 等
一株当たり当期純利益(円) ^{*2}	273.9	320.6	-46.7	-14.6%	
EBITDA ^{*3}	2,780	3,281	-501	-15.3%	タイムラグ差損益 等
NOPAT ^{*4}	1,222	1,688	-466	-27.6%	タイムラグ差損益 等

*1 国内エネルギーの内数

*2 25.3期見通しの「一株当たり当期純利益」の計算には、2024年5月公表の自己株式取得分の影響は含んでおりません。

*3 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) + 持分法投資損益

*4 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	75.0	86.0	-11.0	25.3前提：75\$/bbl
為替(円/\$)	145.0	144.6	+0.4	25.3前提：145円/\$

25.3期見通しの対前年比較- ②資産等

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	31,515	29,801	+1,713	
自己資本	16,310	15,775	+534	
一株当たり純資産(円) ^{*1}	3,988.3	3,857.5	+130.8	
株主資本	12,985	12,463	+521	
有利子負債	10,780	9,382	+1,397	

*1 25.3期見通しの「一株当たり純資産」の計算には、2024年5月公表の自己株式取得分の影響は含んでおりません。

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
ROIC ^{*2}	4.7%	7.0%	-2.2%	タイムラグ差損益 等
ROE	7.0%	8.9%	-2.0%	タイムラグ差損益 等

*2 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本 (期首期末平均) NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)
 セグメント別ROIC見通しは、国内エネルギー 2.8%、海外エネルギー 7.7%、LBS 5.4%

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	51.8%	52.9%	-1.2%	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*3}	54.5%	55.9%	-1.3%	
D/E比率	0.66	0.59	+0.07	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*3}	0.58	0.51	+0.07	
DOE ^{*4}	3.1%	2.8%	0.2%	

*3 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

*4 DOE = 一株当たり年間配当金(DPS) ÷ 一株当たり株主資本 (期首期末平均)

25.3期見通しの「DOE」の計算には、2024年5月公表の自己株式取得分の影響は含んでおりません。

25.3期見通しの対前年比較- ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
品質向上投資	940	733	+206	
成長投資	2,060	1,662	+397	
国内エネルギー	470	327	+142	
海外エネルギー	1,080	838	+241	
ライフ&ビジネス ソリューション	510	495	+14	
設備投資	2,480	1,984	+495	
減価償却費	1,240	1,235	+4	

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,430	3,126	-696	
投資活動によるキャッシュ・フロー ^{*1}	3,000	2,159	+840	
フリーキャッシュフロー ^{*2}	-570	966	-1,536	

*1 見通しは投資額を記載

*2 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

25.3期見通しの対前年比較- ④件数、販売量等

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 期末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,530	10,384	+146	+1.4%	

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m ³)* ^{1,2}	6,659	6,646	+13	+0.2%	
家庭用	1,707	1,721	-14	-0.8%	
業務用等	4,952	4,925	+27	+0.6%	
国内電力販売量(百万kWh)* ²	15,964	15,308	+656	+4.3%	

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
平均気温(℃)	17.4	17.9	-0.5	

*1 45MJ/m³

*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

25.3期見通しの対前年比較- ⑤セグメント別

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	19,860	20,830	-970	-4.7%	
国内エネルギー	16,400	17,706	-1,306	-7.4%	ガス販売単価低下 等
海外エネルギー	1,250	1,164	+85	+7.3%	米国での上流事業の増収 等
ライフ&ビジネス ソリューション	2,860	2,740	+119	+4.4%	
調整	-650	-780	+130	-	

セグメント利益 ^{*1}	1,540	2,045	-505	-24.7%	
国内エネルギー	525	922	-397	-43.1%	タイムラグ差損益 等
内、電力	200	314	-114	-36.4%	タイムラグ差損益 等
海外エネルギー	725	796	-71	-9.0%	
ライフ&ビジネス ソリューション	300	310	-10	-3.3%	
調整	-10	15	-25	-	

タイムラグ差損益 ^{*2}	120	285	-165	-57.9%	
(個別)ガス事業	110	146	-36	-24.7%	
(個別)電力事業	10	139	-129	-92.8%	

*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

*2 国内エネルギーの内数

IV. 補足情報

通期見通しに対する主な収支変動要因

気温・水温影響

	変動幅	家庭用ガス販売量への影響
気水温	+1℃	-7%

油価・為替影響

変動幅 (第2四半期以降 の変化)		セグメント	収支影響	経常利益への 影響額
原油 価格	+ 1\$/bbl	海外エネルギー	増益	-10.1億円
		国内エネルギー	減益	
為替 レート	+ 1円/\$	海外エネルギー	増益	-3.2億円
		国内エネルギー	減益	

